

■第2回総合計画審議会における委員の意見分類表（事務局による分類）

| 領域 | 市民の状態・意識など | 市民の行動 | まちの状態 | 策定方針のポイント（社会のあり方の変化等） |
|----|---|--|---|---|
| 経済 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に生きる産業をつくる ・買うからつくる | <ul style="list-style-type: none"> ■環境 <ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会 ・サーキュラーエコノミー ・エネルギーも地産地消 ■産業 <ul style="list-style-type: none"> ・脱消費型 ・デジタルの進むまち | |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活に不安がない ・元気でいきいき ・心身ともに健康＝気持ちも ・いたわり・よろこび・共感 ・高齢者、若者それぞれ活躍し、みんな笑顔 ・スロー＝ゆったり・ゆっくり ・かがやく ・豊か≠物質的なリッチ ・いきいき ・市民が強くなる ゆたかなまち ・（多重不安を抱えた中でも）明るく、楽観≠お気楽 ・成熟＝心身ともに健康＝すこやか | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに自分事として参画する（≠支援・手伝い） ・健幸まちづくり ・声を掛け合う ・地域をともにつくる ・（デジタルデバイドを）助け合う・支える ・デジタルデバイド問題を通じた女性や退職者の社会参加 ・性的マイノリティへの理解 ・多様なライフスタイルを認め合う ・サービスの受け手から参加者 | <ul style="list-style-type: none"> ■子ども <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが市民として育つ、成長しふるさとに戻ってくるまち ・子どもを産み育てるのに頼れるひとがいるまち ・子どもが成長のチャンスをもたらえるまち ・子どもたちの声が響くまち ・子どもたちが外で元気に遊ぶまち ■健康・福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生きてよかったとおもってもらえるまち、たくさんのお年寄りが住み続けられるまち ・誰もが移動しやすいまち ・老若男女の元気人口率トップのまち ・障がい者が孤立しないまち ■コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・若者・高齢者の活躍で（地域間の較差や意識の違いを乗り越えて）つながるまち ・子どもと高齢者がかがやくまち ・退職男性＝お荷物 or 資源 ・作り手がたくさんいるまち ・知恵と経験のある人がいるまち ・「まつり」などの文化あふれるまち ・外からの人を受け入れることがうまいまち＝オープンなまち ・おせっかいで関係性が少し濃いまち ・共生社会 ・性的マイノリティを尊重するまち ・多様性と共生が尊重される、多面的なまち ■市民活動 <ul style="list-style-type: none"> ・公園が活用されているまち ・シニアだけでなく若者（転入超過のボリュームゾーン）・女性の参画の仕組みがあるまち ■環境 <ul style="list-style-type: none"> ・衛生的な美しいまち ・農あるまち ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅都市ではないネオニュータウン、ポストベッドタウンのモデル ・誰もが笑顔になれるまち。いのちかがやく、にぎわいのあるまち ・市民が強くなる ゆたかなまち | <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが健康で幸せな日々を過ごせるまち（健幸都市）づくりをさらに前進させ、地域共生社会の実現を目指す ・すべての人にとって、住みやすく、暮らしやすい多摩市の実現を目指す |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・健全な地球あってのまちづくり＝地球環境の問題は土台 | <ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラ問題に取り組む ・30 by 30 ・環境問題を自分事ととらえる | <ul style="list-style-type: none"> ■環境 <ul style="list-style-type: none"> ・都市のいきものが保全されているまち | <ul style="list-style-type: none"> ・気候非常事態宣言（令和2年6月） ・国土強靱化地域計画の一体化 |